



■基礎データ

タイトル		竜巻接近を想定した対応訓練（ショート訓練）	
ねらい (学習目標)	1. 竜巻に関する事前学習を生かし、竜巻接近の緊急放送を聞いた時に自分の判断で自分の身を守る対応行動を習得させる（竜巻発生を認知した時の適切な行動を学ぶ）		
対象学年	全般		
教科・イベント等	対応行動訓練（授業時間以外の時間）		
訓練形態	ショート訓練（対応行動のみ）		計5分
準備	竜巻効果音（気象庁 DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」収録の竜巻動画）、ワークシート「訓練を振り返ろう!」、アンケート「竜巻アンケート」、授業補助教材など		

■学習の流れ

構成・内容	教職員の行動	児童の行動
1 緊急放送（2分）		
<p>「訓練、訓練、訓練。学校の近くで竜巻が発生し、南の方向から学校に近づいていきます。児童は直ちに活動をやめて安全な場所に避難して下さい。」</p> <p>※竜巻効果音を流す</p>	<p><input type="checkbox"/> 児童のとるべき行動について教師から指示を出さない</p> <p><input type="checkbox"/> 事前学習2で学習した対応行動がとれているか、教師も対応行動をとりながら観察（評価）する</p> <p><input type="checkbox"/> 配慮が必要な児童は教師と一緒に行動する</p> <p><input type="checkbox"/> 竜巻の効果音が流れても動いている児童には、その場で退避行動をするように指示を与える</p>	<p><input type="checkbox"/> 放送をしっかりと聞く</p> <p><input type="checkbox"/> 竜巻接近の緊急放送を聞き、自らの判断で、安全な場所へ移動し身を守る</p> <p><input type="checkbox"/> 竜巻が接近してくる方向をしっかりと理解して行動する</p> <p><input type="checkbox"/> 竜巻の効果音が流れるまで（猶予時間）に対応行動を終わらせる</p> <p><input type="checkbox"/> 教室以外の児童は、その場に応じた退避行動をとる</p> <p><input type="checkbox"/> 身を守る物や場所がない時には、シェイクアウト（だんごむしのポーズ）により身を守る</p>
2 訓練放送（3分）		
<p>「訓練、訓練、訓練。竜巻は通過しました。現在、校舎内の安全確認をしています。児童はその場で引き続き待機して下さい。」</p> <p>「校舎内の安全が確認できました。児童の皆さんは、自分の教室に戻って下さい。このあと訓練の振り返りを行います。教室にいる児童は、カーテンを開けて下さい。」</p>	<p><input type="checkbox"/> 放送を静かに聞かせる</p> <p><input type="checkbox"/> マニュアルに沿った構内の安全確認、情報伝達等を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 教室外にいる児童を速やかに教室へ誘導する</p> <p><input type="checkbox"/> 「お・か・し・も・ち」を守り移動させる</p> <p><input type="checkbox"/> 訓練の振り返りを行う（事後学習で指導する）</p>	<p><input type="checkbox"/> 放送を受けて、引き続きその場で退避行動をとる</p> <p><input type="checkbox"/> 教師や校内放送の指示を静かに聞く</p> <p><input type="checkbox"/> 自分の行動を振り返る（事後学習などで学習する）</p>



■評価ポイント

1. 竜巻発生時に自分の判断で自分の身を守る対応行動を習得できたか（ワークシート1番①～④）
2. 実践訓練での自分の行動を振り返り、竜巻発生を認知した時の適切な行動が学べたか

■特記事項

- ・避難場所（校庭等）への避難までを行う通常訓練は、地震防災プログラムを参照して実施する
- ・訓練形態を「教室（普通教室）」以外に設定することで、教職員が近くにいなくても、その場に応じた対応行動を学び・習うことができる
- ・訓練日時を周知しない「抜き打ち訓練」を効果的に利用することにより、訓練の形骸化を防止できる
- ・小学校高学年は、竜巻の発生メカニズムなどの「理科学習」につなげることができる